第 62 号
発　行　所
独立行政法人国立病院機構
仙台医療センター附属
仙台看護助産学校同窓会
仙台市宮城野区宮城野二丁目８－８
電話　022-293-1111　内8100
印刷所　株式会社印刷館

同窓会会報

独立行政法人国立病院機構
仙台医療センター附属仙台看護助産学校
創立年月日　昭和22年９月１日

▶新病院5月1日開院



第30回同窓会総会のお知らせ

会長　**太田代　洋　子**（看28回生）

同窓生のみなさま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

新しい元号「令和」の時代を思わせる　爽やかな風が吹き抜ける季節となりました。

平成～令和にかけて、私たち役員会も30回総会に向けて準備を進めております。特に前回の審議事項の「永代会費案」については、将来の同窓会の在り方も問われることになり、慎重に検討を重ねております。

前回の会報誌では多くの会員の皆さまからのご意見を伺いたく、アンケートにご協力をいただきありがとうございました。紙面をお借りして感謝申し上げます。アンケート結果の詳細は別紙をご覧ください。

総会の提出議案は会計・事業計画（案）・会則の一部改訂、永代会費（案）の再度提出を予定しております。

同窓生の皆さまの多数のご出席を心よりお待ちしております。

総会前に新病院見学会もありますので、皆様お誘いあわせの上お出でいただければ幸いです。

第30回同窓会総会のご案内

日時：令和元年10月19日（土）
15時～16時

会場：仙台サンプラザホテル

日程：受付開始　14時半～
同窓会総会　15時～16時半
写真撮影　16時半～
懇親会　17時～19時

会費：５０００円

＊病院見学会　13時半～14時

集合場所：西玄関入口
宮城野原出口１
（楽天生命パーク方面）

新看護部長挨拶

患者さんにやさしく働きがいのある新病院をめざします



仙台医療センター
看護部長
高　橋　　香

４月１日、仙台医療センター看護部長として着任いたしました。

着任から一月後の令和元年５月１日、仙台医療センターは、宮城野２－８－８の病院から宮城野２－11－12の新病院への移転をいたしました。

私は昭和57年４月当院（当時：国立仙台病院）に就職し、沢山の患者さんと出会い、沢山の仲間とお互いに支えあいながら、医療者として沢山の経験をさせていただきました。その宮城野２－８－８の病院から新病院への移転はとても複雑な思いでした。

しかし、移転を目前にした一カ月はそんなことは言ってはおれず、とにかく、安全に患者さんを新病院にお迎えすること、そのことで頭がいっぱいでした。

各部署の職員は、私が着任する以前から、移転に向けての計画、シュミレーションと休日返上で移転準備をし、移転当日も、職員総出で患者さんの搬送を行いました。患者さんの安全を考え互いに声を掛け合い、一つ一つの確認を行い、そして患者さんへ「新しい病院につきましたから安心してください」と声をかける職員の姿をみて、仙台医療センター職員の使命感溢れる行動に感激と感謝の思いでした。

機材や備品を搬出した旧病院に目をやると、灯りは消えてはいますが「患者さんを大切に、職員を大切に」と諸先輩方の思いを代弁するかのように、今もエールを送ってくれているような気がします。

仙台医療センターには、毎年、附属看護助産学校の卒業生をはじめとする約50名を超える新採用者が就職してきます。就職後は、急性期の患者さんのとらえ方、検査や治療に伴う看護等、身につけなければならないことが沢山あり無我夢中で日々を送ります。その中で、もう少しゆっくり患者さんと向き合いたいとジレンマを抱きながらも、自分の目指す看護に近づけるよう進んでいる姿には心うたれます。

看護に対する考え方（本質）はいつの時代もかわることはありませんが、看護を取り巻く環境は変化しており、人の育て方、看護業務の内容、働き方への意識も変化してきております。

新病院に移転した仙台医療センターが、さらに地域の皆様に確かな医療・看護を提供し期待に答えていかなければなりません。後輩を育て、後輩の成長に喜びを感じながらお互いに成長できる看護部であることが、「患者さんにやさしく働きがいの病院」の礎となると思っております。これからも看護学校との連携を図りながら、職員一人一人が仙台看護助産学校、仙台医療センターでの学びを誇りに思えるように努力していきたいと思います。

今後ともご支援宜しくお願いいたします。

新事務部長挨拶



仙台医療センター
事務部長
藤　田　康　博

平成31年４月に宮城病院から転勤してきました。どうぞよろしくお願いします。学校の事務に携わるのは、山形病院在職時（管理課長）以来ですが、限られた病院でしか経験できない業務ですので、頑張ってまいります。

仙台医療センター(病院本体)は、令和元年５月１日に新築移転しました。学校とメディカルトレーニングセンターは引き続き現在の地で運営していきます。同窓生の皆様は、「学校は改築しないのか！」と思っていらっしゃるかと思います。ドン！と改築費用をご寄付いただければできないこともないかと…。

さて、事務部長として３カ所目の仙台医療センターですが、いつの時も部下とのコミュニケーションの難しさを実感しております。経験年数を重ね、部下を多数持つようになるとコミュニケーションがこちらからの一方通行になり、自分のペースで話すことが多くなっていると感じます。

先日、新聞のコラムで松井秀喜さんの記事を見つけました。「指導意図くみ取る感性を」というタイトルです。教え方の上手な人は、自分を相手の位置に置き換えて見られる人、教わる方にも相手の視点からものを見ようとする姿勢があれば意図は伝わると。松井さんは、プロ入りし長嶋監督から一対一の指導を受けるまで、特別な打撃指導を受けたことはありませんでしたが、長嶋監督の意図することはすぐに分かったそうです。長嶋監督が選手の視点を持っていたからだろうと松井選手は述べています。これは、超一流アスリートの域にある二人なので特別なことなのかもしれませんが、今一度、自分↖

学校のトピックス

祝 卒業おめでとう

平成31年３月４日に卒業式が挙行され、看護学科第70回生79名、助産学科第42回生24名の計103名が卒業を迎えました。４月からそれぞれが志願した病院、学校で新たな一歩を踏み出しています。特に仙台医療センターは５月１日に新病院への移転があり、新しい環境で勤務している卒業生は毎日緊張の面持ちで仕事をしている様子です。一日も早く職場に馴染み、経験を重ねていってほしいと思います。進学された人は更なる努力で専門職の資格を取得し社会に貢献してほしいと願っています。今後のみなさんの活躍を期待しています。

平成30年度卒業生の就職・進学の動向

就職先／学科	看護学科	助産学科
独立行政法人　国立病院機構	63.3%	56.0%
独立行政法人　国立病院機構以外（進学含む）	31.7%	40.0%

祝 合格おめでとう

平成31年３月22日、国家試験の合格発表が行われました。全国結果は第108回看護師国家試験合格率が89.3%、第102回助産師国家試験合格率は99.6%でした。本校の結果ですが、看護学科78名合格（１名不合格）、助産学科24名が合格という結果でした。講義および実習など教育に関わり支援していただきました病院職員の方々に衷心より感謝いたします。

祝 入学おめでとう

平成31年４月９日学校敷地の桜が満開の中、看護学科第73回生80名、助産学科43回生25名、計105名が晴れて本校に入学しました。迎える教職員も学生の新鮮なまなざしに新年度を迎えた喜びを感じ学校生活に馴染めるよう日々かかわっています。親睦会では学年を越えた交流もあり、今後の成長が楽しみです。

↙の姿勢を振り返り大いに反省しました。まさしく、国立病院機構の理念〝患者の目線に立って〟の実践。相手の目線ということを意識すると決意しました。

仙台医療センター附属看護助産学校は、今年で創立76年目を数え、名実ともに地域の医療を担う人材を輩出しています。今後も患者の目線に立った医療を行えるような人材を輩出出来るよう教育現場の方々とともに頑張っていきますので、皆様のご指導ご支援をどうぞよろしくお願いします。

アンケートのご協力ありがとうございました。

前回の会報誌で会報誌のホームページ化と病院見学会のアンケートにご協力していただきありがとうございました。

３４２５通発送し、５２２名からの返信がありました。（回答率15%）

●アンケート結果

紙面での郵送希望者は１５６名、希望しない方は３５３名でした。

今回のデータをもとに30回総会時の検討資料として検討しています。詳細については総会でお知らせしたいと思います。

また、病院見学希望者は79名でした。最終希望は同封のハガキにて総会、懇親会の参加と共に希望を募らせていただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

新病院玄関での患者移送▶





▲旧病院からの患者移送

「時代は変われど絆は変わらず…」

大崎市民病院　助産師
小野寺　ゆかり
（助産学科16回生）

平成31年2月22日　仙台医療センター看護助産学校助産師科第16回生の同窓会が開催されました。

同窓会の日はとても楽しみに会場に向かいましたが、卒業して以来会っていない同期生との再会は少し緊張もありワクワクドキドキの心境でした。

しかし、そんな心配はよそに、若かりし頃同じ目的で同じ時間を過ごした仲間たちとは、話が途切れる事も無く、お互いの近況報告も交え、楽しい時間を送ることができました。頭に白いものが目立つようになりシワも増えるお年頃ですが、卒業してから26年も経つのにみんなの笑顔は卒業アルバムと一緒でした。

当日、東北各地と東京、神奈川、新潟と遠方からご家族のご協力を得て忙しいなか21名の参加がありました。病院や地域で働く者や教員として頑張っている仲間がいる、みんなそれぞれの立場で活躍されている姿を知ることができ私も自分への活力となりました。学生時代、ポケベルの呼び出しにドキドキしながら勉強や実習で仲間たちと切磋琢磨した1年間でしたが振り返ると楽しく充実した忘れられない思い出です。今は携帯電話という文明の利器を最大限に利用し連絡を取り合う事ができ今回の同窓会が開催されました。また、今回は佐々木和子教務主事も東京から日帰りとハードスケジュールで御参加いただき有難うございました。幹事様、お疲れ様でした。

令和になっても、また皆様にお会い出来るよう頑張りましょう。次回は温泉でもいいですね。



▶助産師科第16回同窓会

人事異動

平成三十一年三月三十一日付での人事異動です。

○看護学科

・教員
渡辺　玲　先生
仙台西多賀病院看護師長に異動（平成31年3月31日付）

・教員
大久保奈古　先生
仙台西多賀病院副看護師長より昇任（平成31年4月1日付）

編集後記

空の青さにいくぶん秋の気配が感じられるようになりましたが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

新病院へ移転してから早や4か月がたとうとしております。当初は迷いながら院内を移動し、目的地までなかなか到着できずおりましたが、最近になりやっとスムーズに移動できるようになりました。旧病院敷地では、毎年きれいな花を咲かせ皆の心を和ませてくれていた小児病棟前の桜の木が切り倒され、昔の思い出がなくなっていく寂しさを感じています。これからの思い出は新病院でたくさん作っていきたいと思います。ぜひ、新しくなった仙台医療センターを見にいらしてください。

今回も委員で協力して無事に編集を終えることができました。次号も温かく見守っていただければ嬉しく思います。

看護学科50回生・
助産学科23回生　佐藤舞子